

金沢大学法学部
2007年度法学部「法理学」小テスト
6月10日5限実施/ 出題: 足立英彦
解答・解説

1. オースティン (John Austin) は、法を「威嚇によって裏づけられた主権者 (他人から習慣的に服従される者) の命令」であると定義したが、この主張に対するハート (H. L. A. Hart) の批判を説明しなさい。(8点)

解答 ハートは、オースティンの法定義は法の過度の単純化であると考えた。とくに、オースティンの定義に基づくと、主権者が交代した後、新しい主権者の命令に服従する習慣がまだ確立されていない期間は法の空白期間ということになってしまう。この期間に発せられた新しい主権者の命令が法とみなされないのは、オースティンの理論が、誰が立法権限を有するかを定めるルールが存在を見落としているからである。ハートは、このようなルールを二次ルールと呼び、二次ルールと、それに基づいて制定される一次ルールが結合した諸ルールの体系が法体系であり、その体系に属する個々のルールが法であると主張した。

解説 法の空白期間についての指摘に4点、権限を与えるルール(授權規範)についての指摘に4点与えた。「授權規範」という語が書かれていても、授權規範の意味(=法規範を定める能力を与える規範)を理解していないと思われる記述をしている場合は減点した。

2. 自然法論とその批判にかかわる次の語句を簡単に(1~2行程度で)説明しなさい。(各2点、計6点)

(a) 結合テーゼ

解答 法と道德の間には必然的な関係が存在するという主張。

(b) 価値相対主義

解答 価値判断は判断する個人に相関的であり、価値判断の正しさを学問的に論証することはできないとする立場。

(c) 無関係論拠

解答 自然法論に対する反論の一つであり、たとえ普遍的に妥当する道德法則や価値判断が存在するとしても、そのことと法概念とは関係がない、とする主張。

解説 単に「法と道德は無関係」と述べるだけでは「分離テーゼ」と区別がつかないので不正解とした。

3. 「Vを行わないことが禁止されている」という規範が偽である(無効である)場合、以下の規範は、「真」、「偽」、「真又は偽」のいずれであるか。(各2点、計6点)

(a) 「Vを行わないことが命じられている。」

解答 真又は偽

解説 「Vを行わないことが禁止されている」($F \rightarrow V$)は「Vを行うことが命じられている。」($O \vee V$)と等値。この命題と「Vを行わないことが命じられている。」($O \rightarrow V$)とは互いに「反対」の関係にあり、いずれか一方が偽の場合、他方は真又は偽。

(b) 「Vを行なうことが許されている。」

解答 真又は偽

解説 $F \rightarrow V$ (OV) と「Vを行なうことが許されている。」(PV) とは「大小」の関係にある。前者が偽の場合、後者は真又は偽。

(c) 「Vを行なうことが命じられていない。」

解答 真

解説 $F \rightarrow V$ (OV) と「Vを行なうことが命じられていない。」(\neg OV) とは互いに「矛盾」の関係。したがって一方が偽なら他方は真。

4. aの法的位置についての「aはbに対してGを行わないことを許されている」という命題が真である(有効である)場合、次の問いに答えよ(記号ではなく、文章で答えよ)(各2点、計6点)

(a) aの法的位置を「～義務を負う」(または「～義務を負わない」)という命題で書き換えよ。

解答 「aはbに対してGを行う義務を負わない。」

解説 「aはbに対してGを行わないことを許されている」($Pab \rightarrow G$)は、 $\neg OabG$ と等値。

(b) bはどのような法的位置にあるか。

解答 「bはaに対してGを行うことを求める権利を有さない。」

解説 「aはbに対してGを行わないことを許されている」($Pab \rightarrow G$)は、 $\neg OabG$ と等値。これと解答の $\neg RbaG$ とは法的相関関係にある。

(c) aが「自由」であるためには、さらにどのような命題が真でなければならないか。

解答 「aはbに対してGを行うことを許されている。」

5. 次の文章の空白を埋めよ。

「多くの場合構成要件と法的効果から構成されており、前者が満たされたならば必ず後者が発生することを求める規範を(1)と呼ぶ。また、多くの場合構成要件に相当する内容を規定しておらず、何かを可能な限り高い程度実現することを求める規範を(2)と呼ぶ。」(各2点、計4点)

解答 1. ルール 2. 原理

参考情報(6月18日現在)

履修登録数	受験者数	平均点
163	157	22.8

* 30点(満点)17名、29点3名、28点26名。